



一般社団法人 奈良教育大学同窓会竹柏会会報

まほろば

第 39 号



目次

○代表理事挨拶	2
○理事長挨拶	3
○学長挨拶	4
○令和7年度決算報告・監査報告	5
○令和7年度会務報告・令和8年度活動方針	6
○役員紹介・寄贈書の紹介	7
○同窓会だより・助成金制度	8
○同窓会だより・キャンパスだより	9
○「同窓生のつどい」のご案内・未来を育む基金	10
○研修部だより	11
○支会だより	12
○会員だより・学生会員からのたより	13 ~ 15
○同窓会年会費振り込みご協力のお願い 事務局だより・編集後記	16

『秋麗北門堂』

垣内 宏志 (H元)

毎年秋になると、教職員互助組合主催の絵画教室が開かれます。私の恩師である本学の元教授、辰巳文一先生が講師をされていたこともあり、初任者の頃からできるだけ都合をつけて参加していました。

絵画教室でこの作品を描いた当時、私は県教育委員会に勤めており、お昼休みを利用しては奈良公園周辺をスケッチして回りました。その中でもお気に入りの場所の一つである、三条通りから見上げた北門堂を油彩で描いたのがこの作品です。

凜とした秋の空気に包まれ、高く澄んだ秋空の下で一層神々しく見えた北門堂の姿が、今も強く印象に残っています。



ご挨拶

一般社団法人奈良教育大学
同窓会竹柏会 代表理事
久保 三左男

同窓生の絆

～この不思議な出会い～

会員の皆様におかれましては日々健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。多くの会員の皆様に支えられて同窓会活動が続けられていますことに感謝申し上げます。ありがとうございます。

毎年、各地の支会からご案内をいただき、総会に参加させてもらっています。ある支会の総会に参加したときにお聞きした話をご紹介します。支会長さんは現職を退き、地元の小学校に早朝の見守りに校門に立ち登校する児童に「おはよう」の声かけボランティア活動をやっておられたときのお話です。いつもその学校の若い先生が参加され一緒に登校指導をやられていたそうです。始業前の何かと授業の準備があるのに、熱心な先生やなあとその先生に好感を持つようになったそうです。しばらく時がたち、あるとき思いきって「先生どこの大学の卒業ですか？」と尋ねられたら、奈良の教育大学ですと返事が返ってきたので、びっくりされたとのことでした。ふしぎな同窓生の出会いの場面です。同窓生は不思議な力で結ばれていると確信した出来事です。

○ 会費納入にご協力ください

昨年の会費納入者は、学生会員331名、会員・正会員1,006名、合計1,337名となります。過去の資料を調べてみますと、最盛期には会員約4,000名余りが会費を納入する時期がありました。

同窓会の活動は会員の御厚意によって成り立っていますので、改めて会員の皆様に会費納入をお願いします。

会員の皆様が納付しやすい方法を工夫し、郵便局やコンビニでの納入以外にも、スマホ決済での納入も出来るようにしています。「同窓生のつど

い」などの事業や学生への支援などに会費を有効活用させていただきます。会費の納入は年度で完結しますので過去に遡って請求することはありません。

最近の会費納入者1,000人前後から2,000人納入を目指していきますので、ご協力ご支援をお願いいたします。

○ 東京を始め各地に、同窓会の支会を作りましょう

人生100年時代になりました。私が就職した頃は、校長先生が55歳で退職され、平均寿命が65歳ぐらいだったと記憶しています。その後、人生80年時代となり、今は人生100年時代と言われるようになりました。

現役を引退されてからの時間が長くなり、人生を楽しむ余暇が増えています。その一コマを同窓生と集い、有意義に過ごすことをおすすめします。そのためには、各地に同窓会の支会があれば重宝です。我校の前身の奈良師範学校時代の同窓会(興東会)の書類に、支部は奈良・大阪・東京のみでもっと増やしていこうという意味の文書が残っています。

現在東京都に住んでいる卒業生は217名おられます。誰からでも結構ですので、声を上げてもらえませんか。同窓会はそのことに協力させていただきます。過去には学生の出身都道府県は近畿地方が多かったのですが、今では北は北海道から南は沖縄まで、全国の都道府県に卒業生が広がっています。

現在支会が活動しているのは、奈良県全域と大阪・京都・三重です。各地で同窓会の支会を計画されていたらご連絡ください。支会の作り方と運営の方法を相談させていただきます。

○ 奈良公園の鹿が話題になっています

天然記念物の奈良の鹿が話題になっています。奈良公園で生息していたと思われる鹿が生駒の山を越えて大阪府内で発見されたためです。今年はこれまでより鹿が150頭ほど増えたというニュースもあります。

奈良市内ではこれまで不足していたホテルの数もずいぶん増えました。卒業生の皆様、久しぶりに奈良を訪ねてみられてはどうですか。学生時代の故郷奈良はいつでも皆様を温かく迎えてくれますよ。



ご挨拶
奈良国立大学機構
理事長
榎 裕 之

「日本の社会と 奈良国立大学機構の将来」 を考える

江戸時代の初頭に約千万だった人口が、江戸末期に3千万になり、明治後の近代化でさらに約4倍になった我が国は、近年は飽和を迎え、急激に人口が減っています。世界各地で事情は異なりますが、限りある地球において人々が充実した人生を送るには、量的拡大でなく、各人が生産性を高め、生きがいのある暮らしをすることが必須です。日本もそんな新たな時代を迎えつつあります。

教育熱心な我が国は、現在では85の国立大学と100余の公立大学を擁し、該当年齢の約1/8を受け入れ、600余の私立大学が約3/8の年代を受け入れています。2022年、奈良教育大学と奈良女子大学は、国立大学法人の第4期（令和4年度～9年度）の開始を機に両者が統合し、新入生が約250人と500人の姉妹組織となりました。両者は個性を重んじつつ、共通の使命（ミッション）を担っていますが、第1の使命は、次代を牽引する優れた教育人材を育てることと、新たな社会を切り拓く女性人材を育てることにあり、実績を挙げています。全国民が学ぶ小・中学校に優秀な教員を送ることと、社会を率いる女性を育てることが大切ですが、両学は新時代を担う役を先取りしています。

さて、両学が第1の使命を達成するには、学生たちが文理の壁を越えて広い基礎・教養教育を身に付け、同時に優れた専門能力を培う意欲と体制が必須です。これが第2の共通使命です。教育者

に限らず、女性の専門家などが社会で直面する課題の多くは多様であり、一専門分野だけでは対応が難しく、文理の学びなど総合知が不可欠です。また、特定の専門で世界を導くには、個別の分野を越え、他分野との繋がりを捉え、世界全体の対応が必要です。それ故、大学は学科の壁を越えて、両学は勿論のこと、近隣大学も協力し、効率よく学び、冠たる研究を行うことが重要です。

両学は国際文化都市の奈良にある独自の立場にあります。豊かな文化と自然の蓄積を基に、千年以上も続く世界との繋がりを現代に活かし、学びや研究に用いることを第3の使命としています。両学での学びや研究は、先端科学の探索に加え、人類存続のための技術の進化や、人類と社会のこれまでの歩みや将来の方向を深く捉えることが重要です。それら現代的課題を奈良の歴史や世界との繋がりの中で、学び究めることが大事です。法人統合後、各学部での対応に加え、近隣大学も含め、奈良カレッジズや学問祭などを機能させてきました。リカレント教育や産地学官プラットフォームを整え、大学院の充実や国際戦略センターによる留学の推進などキャンパス国際化なども進めています。

上述の3使命は、4年前の国立大学の第4期発足時に示されたものですが、日本社会の変容に合わせており、2028年の第5期（令和10年度～15年度）以降も原則として受け継がれる予定です。なお、人口規模が減る将来が予測されるだけに、量的な縮小に留まらず、質的向上や外国との繋がりなどの工夫が欠かせません。我が国の国立大学と附属学校の将来を考える上で、関係者の意識共有が深まることを望むものです。



ご挨拶

奈良教育大学

学 長

宮 下 俊 也

教員就職率75%を超えました！

同窓会竹柏会の皆様、及び事務局の先生方におかれましては、日々、本学へのご理解と多大なご支援を賜り、心より厚く感謝申し上げます。

まず、嬉しい情報をお伝えいたします。

令和7年度学部卒業生の教員就職率が75%を超えました（6月5日現在）。これは、定員250人規模の全国国立大学教育学部の中ではトップクラスに位置付くものと見込まれます。最近ではR5年度が68%、R6年度が69%と推移し、本学が目標としている70%にはあと一步届かない状況が続いていた中での飛躍的な上昇です。その要因の一つには、教員採用試験の合格者が増加したことが挙げられます。

私も採用試験の前に「学長面接」を行い、受験生にアドバイスをしましたが、ほとんどの学生はそれぞれの強みや教師の力量形成につながる学びや経験を有しており、面接試験でそれを堂々とアピールできさえすれば合格するものと確信しておりました。

全国的にいわれる「教職離れ」が進む中、果敢に挑戦し、子どものために力を尽くそうとする本学の学生を心より讃えたいと思います。また、竹柏会からは、「まほろば徳・得講座」をはじめ「未来を育む基金」へのご支援等が結実したものであり、あらためてこの場を借りて深く感謝申し上げます。

さて、今後急速に進む社会の変化や確実に到来する18歳人口減少を踏まえ、文部科学省はすべての国立大学に対し、「これからの20年がこれまでの20年と同じような環境には全くないということを念頭に、社会の大きな転換点にあるとの認識を持つことが必要」とし、「2040年に向けて各国立大学はどのような改革を行っていくのか」を求めています。

本学はこれまで約半年をかけ、「2035年に向けた奈良教育大学のビジョン・ミッション・目標・主たる取組」を検討し、本年4月1日に制定・公表いたしました。そこに掲げたビジョンは「多様な人々に

学びの機会を提供し、教育によって地域創生や持続可能な社会創造に貢献する大学」です（右の2次元コードをご覧ください）。



「質の高い新人教員を養成・輩出すること」や、「現職教員及び学校現場を支援すること」はこれまでと全く変わりませんが、新たに「教育による地域・社会貢献」をミッションの一つに加えました。これは、本学は広い地域をカバーする他の単科教員養成大学とは異なり、存する奈良県に密着した教育大学として、奈良県の地域創生に資する国立大学であらねばならない、ということが前提にあります。

教育大学として地域創生に貢献できることは何かを考えると、①人材育成の源流である初等中等教育を充実させること、②附属こども園を活用した乳幼児期の「教育」や子育て支援、③産学連携によるリカレント教育、④学生を交えた地域課題の解決や持続可能なまちづくり、⑤社員教育など企業や自治体に対する学びの提供、などが挙げられます。それらが、「子どもを含む多様な人々に学びの機会を提供すること」と、「教育によって地域創生や持続可能な社会創造に貢献すること」の意味です。

いうまでもなく奈良県は文化的資源に恵まれ、昨今ではその環境を活かした産学官連携も加速しています。本学も教育を核とする「小さな総合大学」として、「持続可能な開発のための教育（ESD）」、先進的な科学教育、文化遺産教育、奈良女子大学との文理融合の推進など、他大学にない特色や強みを持っています。これらを活かして新しい奈良教育大学の歩みを進めて参ります。

最後になりますが、国立大学における財政は依然きわめて厳しい状況にあります。上記のビジョン・ミッションを実現するためにも、本学全教職員は諸物価や人件費の高騰に対し、教育研究の質を落とすことのないギリギリのところまで業務の効率化や支出の抑制、外部資金獲得に努めております。どうか引き続き、本学の「未来を育む基金」や「奈良市ふるさと納税による奈良教育大学支援」等を通して、ご支援いただけますよう心よりお願い申し上げます（以下の2次元コードからご支援いただけます）。



「未来を育む基金」



「奈良市ふるさと納税」

令和7年度一般社団法人奈良教育大学 同窓会 竹柏会 一般会計 決算報告
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(歳入の部)

単位:円

款	項	本年度予算額 (A)	3月31日現在 (B)	比較増減額 (B-A)	備 考
会 費		5,240,000	5,109,966	△130,034	
	1 通常会費	2,200,000	2,007,966	△192,034	会員及び正会員 1,006名
	入学時	2,392,000	2,440,000	48,000	学生 279名 院生 52名
	2 入会金	0	0	0	
	入学時	648,000	662,000	14,000	学生 279名 院生 52名
繰 越 金	前年度繰越金	2,490,014	2,490,014	0	
利 子	利子及び雑収入	10,000	8,554	△1,446	広告料、貯金利子
合 計		7,740,014	7,608,534	△131,480	

(歳出の部)

単位:円

款	項	本年度予算額 (A)	3月31日現在 (B)	比較増減額 (A-B)	備 考
事 業 費		4,630,000	3,686,807	923,193	
	1 広報費	2,800,000	2,524,720	275,280	会報「まほろば」38号作成、発行等
	2 卒業記念品費	230,000	165,371	64,629	卒業証書用筒、紙袋等
	3 研修費	30,000	0	30,000	
	4 徳・得講座費	120,000	60,409	59,591	まほろば徳・得講座講師謝礼等
	5 支会活動助成費	500,000	349,700	150,300	支会活動活性化対策費
	6 学生活動助成費	350,000	350,000	0	学生会員活動補助費
	7 同期会活動助成	200,000	40,000	160,000	同期会等開催助成金
	8 同窓生のつどい	350,000	166,607	183,393	運営費・出演者謝礼等
	9 環境整備費	50,000	30,000	20,000	学内植樹、整備等
管 理 費		1,140,000	519,600	62,400	
	1 旅費	500,000	252,440	247,560	理事、支会長、評議員、正会員等旅費
	2 備品費	100,000	0	100,000	
	3 消耗品費	100,000	28,319	71,681	印刷用紙・封筒等
	4 通信費	200,000	146,582	53,418	切手、はがき、電話代等
	5 賃借料	100,000	41,208	58,792	コピー機リース料、コピー代
	6 会議費	40,000	6,607	33,393	各会議お茶代
	7 事務局運営費	100,000	44,444	55,556	事務局管理運営費等
	8 総会費	0	0	0	「同窓生のつどい」へ移行
事業基金		1,000,000	1,000,000	0	
		1,000,000	1,000,000	0	令和7年度分基金として繰入
予 備 費		970,014	0	970,014	
	予備費	970,014	0	970,014	
合 計		7,740,014	5,206,407	2,513,607	

差引現在高 7,608,534 円 - 5,206,407 円 = 2,402,127 円

2,402,127 円は、次年度に繰り越します。

事業基金現在高 (令和8年3月31日現在)

南都銀行 (定期) 6,818,359 円 (令和7年度基金100万円、利子1,590円を含む。)

学生活動助成基金現在高 (令和8年3月31日現在)

南都銀行 (普通) 220,228 円

令和7年度の会計については、上記の通りであることを報告いたします。

令和8年3月31日

会 計 山 田



会 計 四 野 宮 康 子



会計監査報告

令和7年度の会計決算報告書を詳細に監査いたしましたところ、諸帳簿等はよく整備され、正確適正に処理されていることを認めます。

令和8年4月15日

監 事

金 治 延 幸



令和7年度会務報告

4月 3日	大学入学式	参加者 90名(内学生 20名)
4月 16日	会計監査を受ける 第1回理事会 第1回まほろば編集会議	10月 15日 第3回理事会
5月 10日	正会員(推進委員)総会 出席 29名・委任状 70名 計 99名 第2回まほろば編集会議	11月 8日 支会長・評議員合同会議 東大阪市支会総会 大学内
5月 21日	第1回理事連絡協議会 第3回まほろば編集会議	11月 9日 大阪市興東会退職校長会
6月 18日	第2回理事連絡協議会 第4回まほろば編集会議	11月 15日 大和郡山市支会総会
6月 30日	まほろば 38号 発行	11月 19日 第4回理事連絡協議会
7月 2日	第2回理事会 第1回まほろば徳・得講座 参加者 14名(内学生 5名) 講師 寺川聡先生 大和高田市教育委員会指導主事	12月 3日 第5回理事連絡協議会 第2回まほろば徳・得講座 参加者 14名(内学生 3名) 講師 久保三左男先生 同窓会竹柏会代表理事 濱喜代巳先生 つくば開成高校関西総括本部参与
7月 17日	学生(自治会等)との話し合い 新・旧役員(学生 4名) 濱田学生支援課長・久保代表理事・理事代表 6名 (同窓会活動を各担当者から説明・学生からの質問・要望を聞く等)	12月 9日 八尾市支会総会
9月 6日	京都支会総会 大学内	令和8年
9月 17日	第3回理事連絡協議会	1月 17日 大阪市興東会新春総会
9月 30日	大学中間卒業式 学部 9名・大学院 2名 計 11名	1月 21日 第4回理事会
10月 4日	同窓生のつどい ・大学構内の見学、茶室で一服 ・学生、OB・OGの発表会 ・懇親会 学生食堂	1月 25日 桜井市支会総会 2月 15日 名張市支会総会 2月 18日 第6回理事連絡協議会 事務局会議 3月 18日 第7回理事連絡協議会 3月 24日 卒業式に向けての準備 3月 25日 大学卒業式 学部 257名・大学院 48名 計 305名
		3月 25日 学生部活動支援金贈呈

令和8年度 奈良教育大学同窓会竹柏会 活動方針

1. 大学当局との連携を確かにし、大学の充実と竹柏会の発展に努める。
2. 会員相互のふれあいを大切にし、同窓会意識の高揚を図るとともに会費納入への理解を深め、会費納入者の大幅増員をめざす努力をする。
3. 学生会員に向けての支援活動を拡充する。体育・文化部活動への援助を行う。
4. 記念樹の管理等、学内環境の整備に努める。
5. 年間事業の活動と支会活動との連携を密にする。支会を援助し、新しく支会を設立する。
6. 「同窓生のつどい」を盛会に行う。

令和8年度 奈良教育大学同窓会竹柏会 役員紹介 (敬称略)

名誉会長	宮下俊也	代表理事	久保三左男	理事	山田恵敏	竹柏会委員	豊田弘司
顧問	長友恒人	理事	松原さおり		奥村浩一		深田展巧
	柳澤保徳		香川一実		福西正剛		西岡由郎
	長田光男		小林邦子	監事	金治延幸		林田晃典
	西田史朗		増田辰夫	竹柏会委員	岩橋恭子		山崎淳美
	中川克巳		吉田誠		武村恵美		枝元哲
名誉理事	松村恵司		近藤義之		滝川満夫		今井美之
	北良夫		四野宮康子		銭本三千宏		
	吉田貴子		山田昇		中澤新治		

(令和8年6月1日現在)

支会長	奈良市	浜辺秀雄	支会長	吉野	藤井登志夫	評議員	生駒市	中谷篤	評議員	御所市	
	天理市	村井稔正		高校	乾井学			川口真由美		五條市	尾崎和弘
	大和郡山市	楠隆彦		大阪市	池田真一		生駒郡	田畑吉一			杉崎明子
	山辺郡	中西拓也		東大阪市	金治延幸			中谷英二		内吉野	
	生駒市	中井公人		八尾市	浦上弘明		桜井市	脇田正美		吉野	
	生駒郡	宮前清和		京都	鐘築栄滋			北川雅尚		高校	稲葉功
	桜井市	半田孝		名張市	廣瀬裕司		磯城郡	前川美幸		大阪市	前谷さき子
	磯城郡			京都市	井口和子			松村宙亨			坂幸之介
	宇陀	田中三彦	評議員		西田美智子		宇陀	松岡清之		東大阪市	高山卓三
	橿原市	中島浩一		奈良市	阪東俊行			向井清			植田勝
	高市郡	上西義次			水上智裕		橿原市			八尾市	加藤賢一
	大和高田市	吉川淳		奈良東部	谷嶋美智子		高市郡	西井良之		京都	井戸野仁司
	北葛城郡	増田辰夫			阪部保		大和高田市				濱喜代巳
	香芝市			天理市	喜多健一		北葛城郡	森岡義博		名張市	布村進
	葛城市	井村享史			山田恵敏		香芝市				大久保憲嗣
	御所市			大和郡山市	熨斗慎司		葛城市			京都市	
	五條市	岡巧		山辺郡	川畑恵子						
	内吉野	久保隆									

(令和8年6月1日現在)

寄贈書の紹介

「飛鳥・藤原の宮都」世界遺産学習副読本
『すごいなあ、わがまち～橿原市・桜井市・
明日香村～』作成に関わって
半田 孝(S63)

本年7月、本県4件目となる「飛鳥・藤原の宮都」が世界文化遺産に登録されようとしている。本遺産は中国大陸及び朝鮮半島との緊密な交流のもと、日本列島において6世紀末から8世紀初頭に中央集権体制が誕生・成立した過程を、宮都の変遷から示すことのできる比類のない考古学的遺跡群である。19の構成資産の中には、「藤原宮跡」「飛鳥宮跡」「飛鳥寺跡」「山田寺跡」「石舞台古墳」「高松塚古墳」などが含まれている。

令和4年の春、登録に先立ち、児童向けの副読本を作成することになった。3市村から、監修者、編集委員(各3名の小学校教員)、文化財担当者、事務局等からなる組織が立ち上がり、私が編集長を引き受けることになった。会議の進行等を任せられたのだが、副読本の内容や構成等についてはほとんど決まっておらず、当初は試行錯誤の連続であった。全体での会議は11回を数え、その合間の事務局会、担当者会、各市村での会議は数え切れない。その作成過程で、特に苦勞したのは、

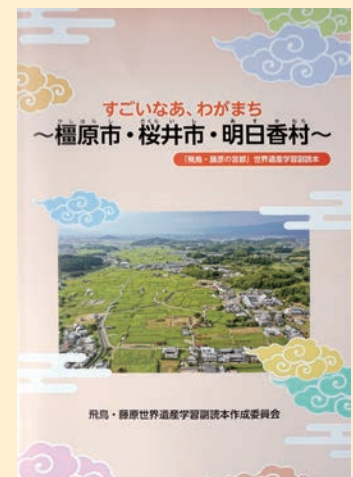
①単なる世界遺産の説明ではなく、児童が主体となって探求的・体験的に学習できるような副読本にすること。

②主対象にしている小学4年生に向けて、専門用語の多い構成資産等について、分かりやすく記述すること。

③3市村で構成資産の多少はあるが、3市村の児童がそれぞれ興味をもてるものにすること。

などである。そして、足かけ4年の歳月を費やし、ようやく昨年秋に完成(同時に教員向けの手引きも作成)して、3市村の小学校等に配布することができた(橿原市はデジタルでの配信)。

今後この副読本を活用して、「飛鳥・藤原の宮都」の文化財の意味や価値への理解が深まり、故郷「わがまち」への愛着と文化財を大切にすることを育んでほしいと願っている。



同窓会だより

正会員（推進委員）総会報告

令和8年5月9日、山田ホールを会場に正会員総会が開催されました。「正会員総数128名のうち、27名の出席と63名の委任状がある」との報告があり、総会の成立が確認されました。久保代表理事が開会の挨拶で、「人生100年時代。65歳で定年の後、趣味や生きがいを見つける中で、同窓会もその一助になれば」と話され、支会活動をさらに拡充することや、年会費の納入が昨年度1000人の大台を超えたことへのお礼を述べられました。

議長に増田理事が選出され、令和7年度会務報告・決算報告・会計監査報告、令和8年度役員体制、活動方針・予算案が審議され、いずれも満場一致で承認されました。松原理事が閉会の挨拶を述べ、総会は終了しました。



「正会員（推進委員）」について

正会員は総会での議決権を有し、同窓会活動の推進を担っていただきますので、令和5年度より「正会員」の名称に(推進委員)を添えて、その役割を明確化しました。

年会費は3000円(1,000円単位での増額可)で、新しく「正会員(推進委員)」への登録をしていただけは、同窓会事務局までご連絡ください。

令和7年度 支会長・評議員合同会議の報告

令和7年11月8日、奈良教育大学学生会館の山田ホールで支会長・評議員合同会議が開催されました。久保三左男代表理事の挨拶のあと、北葛城郡、奈良市、名張市、八尾市、東大阪市、宇陀市、山辺郡、五條市、磯城郡、桜井市、大和郡山市、生駒市、京都の順で支会長や評議員の方から、自己紹介と各支会の現状報告（支会の運営状況、諸課題、今後の見通し等）をしていただきました。

「支会の総会を開きたいのだが参加者がなかなか集まらない」という課題に向けて、京都支会と東大

阪市支会から、奈良教育大学生協の食堂を利用して総会を開催していることが報告されました。東大阪支会の総会は、この会議と同じ時間帯に大学生協で行われていたため、会議終了後に総会の様子を見にいかれた方もおられました。最後に同窓会事務局から、支会活動で大学生協を利用する際の手続きの説明や諸連絡が行われ、閉会となりました。



学生への支援金贈呈

令和8年3月25日、竹柏会代表理事から学生自治会の代表に支援金をお渡ししました。久保代表理事から「同窓会は、学生の活動を常に応援しています」と挨拶があり、自治会代表は謝辞とともに「学生の活動に生かしていきます」と話しました。

同席いただいた濱田学生支援課長からは、学生の活動の紹介とともに、「同窓会と学生代表の話し合

いの中で出されたWi-Fi環境について、改善がなされた」との話がありました。

お渡しした支援金は学生自治会により、文化会・体育会に所属する部活・サークルの各団体に分配されます。同窓会としては、重点目標に掲げる学生会員への支援を、今後とも継続していきます。



同期会等開催への助成金制度

昨年度より、同期会等の開催に対して助成金をお渡ししています。（昨年度は3件支給）繋がりをつつまでも大切にいただき、同窓会活動や母校への理解と関心がさらに深まることを願っています。

制度の概要

助成を受けることができるのは、同期会（卒業または入学年度が同期の者が対象）や、課程や教科・研究室、クラブ・サークルの同窓会（卒業年度の異なる場合も可）とし、下記要件を満たすものとする。

※ただし、大学祭時のOBの集まりを除く。開催時に「年会費納入のお願い」等の同窓会から依頼する資料の配布を必須とする。

助成金額と要件

- ①助成金額▶2万円 要件：30人以上の参加があること。
- ②助成金額▶1万円 要件：20人以上の参加があること。

申請の手続き

- ①事前に、開催日時・参加予定者数・代表者の連絡先等を事務局に連絡する。
- ②事務局より、「開催報告書」や「同窓会年会費納入のお願い」等の資料を送付する。

助成金の交付

「開催報告書」をもとに事務局で要件等を精査し、交付する。

その他

- ▶開催した会の報告と、会報に掲載する原稿と写真を、同窓会事務局に提出する。
- ▶申請は、年度に1回とする。
- ▶案内状発送等についての相談などがある場合は、同窓会事務局に連絡する。

令和7年度 同窓生のつどいの報告

令和7年10月4日、奈良教育大学を会場にして「同窓生のつどい」が、卒業生や学生を含めて90名もの会員の参加のもと開催されました。あいにくの雨模様でしたが、大学の構内見学では、クラブハウス内の銘板を見たり講堂の椅子に座ったりして、時の移ろいを感じておられました。山田ホールでは、ギター・マンドリンクラブと奈響ネプの皆さんが、素敵な音色や歌声を聞かせてくださいました。

また、楽桜会混声合唱団の皆さんは、「奈良千年（作詞：

山村公治 作曲：牧野英三）」を披露してくださり、参加者は配られた歌詞を見ながら古都を感じておられました。山本隆萬さんの寧楽書院（奈良教育大学の前身）についての発表や、茶道部の皆さんのお抹茶のお接待もあり、和やかな雰囲気となりました。午後からは、学生食堂で懇親会を開きました。「久しぶりに大学の中に入れて楽しかった」「孫が本学の野球部に所属しており来てよかった」などのお話しが交わされ、マジックショーで大いに盛り上がりました。令和8年度の「同窓生のつどい」も大学で行いますので、ぜひ多数ご参加ください。



「同窓生のつどい」に参加して

桑原 廉仁 (S49)

あいにくの雨の朝でした。10月4日(土)、奈良教育大学の同窓生のつどいに参加させていただきました。

とても楽しく懐かしいひと時を過ごせてよかったです。

私は保健体育専攻、生理学研究室で学ばせていただきました。当時の中牟田先生に教えてもらったことは数多く、勉学はもちろんですがそれ以上にこれからの人生の生き方を学ばせてもらったように思います。

私は大学の同窓会には一度も出席したことがなく今回の参加が初めてです。

参加するきっかけとなったのは私が所属していた陸上部でかつ生理研の後輩からの誘いがあったからです。彼らはこの同窓会の理事をしていろいろな面で世話をしてくれています。そして、自分が過ごした大学のいろんな施設がどうなっているかという興味がわいてきたこともあります。4回生の時にやっとできた400mトラックのグランド、安くて美味しかった食堂、学生会館の喫茶室、泳ぎながら大文字焼を眺めた50mのプール、研究室はまだあの当時のままなのだろうか、そしてなにより思い出に残っているのは大学祭の時軽音楽で一晩中ドラムをたたいていた山田

ホール。その山田ホールで現役大学生の演奏やアカペラの歌声、大学の歴史の講話、それに先輩方の情緒あふれる合唱、すべて素晴らしく感じました。

奈良教育大学で過ごせて幸せでした。自然環境にも恵まれ、少ない学生数だからこそ味わえる親近感、みんな顔見知り。

私は教員生活を終え、今は東大阪市立石切東小学校でスクールサポーターとして勤務しています。

毎朝子どもたちと朝の挨拶をかわし、みんなが楽しく安全な学校生活が送れるようお手伝いをしています。今の少子化の中多くの子どもたちとふれ合えることで私自身が楽しく、若返る喜びを感じています。

奈良教育大学で学び教員になって本当に良かったと思います。一般企業に勤めていれば退職すればそれで終わり。私にはたくさんの卒業生がいます。今でも先生！先生！と声をかけてくれ、同窓会もしてくれます。退職しても周りに宝物がいっぱいあるようです。

よい先輩、よい後輩にも恵まれ私の幸せな教師生活の原点はこの奈良教育大学にあります。

最後になりましたがこの同窓生のつどいの企画運営に携われた多くの方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。みなさん！同窓会に出席することが若返りの秘訣です、そして、青春時代に戻りましょう！

キャンパス
だより

入学生はどの都道府県から？ (令和8年度)

※ Source Data：入試課

1	大阪府	80名	7	三重県	6名
2	奈良県	65名		広島県	6名
3	兵庫県	25名	9	滋賀県	5名
4	愛知県	10名		香川県	5名
5	京都府	9名		石川県	5名
	岡山県	9名		静岡県	5名
				長野県	5名

(卒業高校の所在地で調査)

卒業生の進路は？ (令和7年度卒業・修了者)

※ Source Data：学生支援課就職係

教員	幼稚園・認定こども園	8名	公務員	21名
小学校		49名	企業	49名
中学校		47名	大学院等進	38名
高等学校		20名	保育士等	5名
特別支援学校		5名	未就職者	5名
教育委員会		1名		
期限付採用		60名		

【合計 308名】



一般社団法人 奈良教育大学
同窓会竹柏会

同窓生のつどい

2026年10月31日(土) START10:00 (受付9:30 ~)

奈良教育大学 山田ホール・学生食堂など

10:00 ~ 大学構内の戦争遺構見学



奈良教育大学には、その昔^{れんたい}聯隊として機能していた時代がありました。聯隊とは軍隊の編成部隊の1つであり、この地で訓練に勤しんだり、各戦地に飛び立ったりしていました。現存する戦争遺構を巡ります。(約45分)

りょうまつ
糧 秣倉庫【現：教育資料館】

当時は軍人や馬用の食糧の貯蔵のために使われていました。

10:30 ~
お抹茶

▶ホール2階



茶道部がお接待します。

11:00 ~ 学生、OB・OG発表会



ウィンドアンサンブル

小学校やこども園での演奏、定期演奏会などの活動を行っています。当日は、アンサンブル形式での吹奏楽をお楽しみください。

東 晃太郎

本学の「学生オペラ」に専門外でありながら毎年出演。当日は「千の風になって」などを独唱します。



戦争遺構保存会

構内の戦争遺跡見学では、案内役を務めます。発表会では、保存会の活動や研究内容などについてお話しします。



楽桜会混声合唱団

音楽専攻者同窓会による合唱団。練習は月2回、秋篠音楽堂での「楽桜会コンサート」「ブリリアントコンサート」などに出演。



12:30 ~ 懇親会▶学生食堂

懇親会費(会員3,500円、学生会員500円)
各年代の同窓会員の集いの場です。オードブルに、今年はお寿司も追加。飲んで・食べて・喋って、楽しいひと時を過ごしましょう。

申し込み

同窓会事務局 TEL: 0742-21-6101
Eメール: nakyodoso130@gmail.com

奈良教育大学基金 未来を育む基金 ~ご寄付のお願い~

奈良教育大学基金では、次にあげる事業へのご支援をお願いしております。

① 本学全体の活動を充実させるための事業

教育研究活動の支援、教育研究環境の設備充実、社会貢献活動、その他基金の目的達成に必要なこと

② 学生支援事業

学生生活・厚生施設の充実、課外活動及び学生企画等の学生支援に関する事業など

③ 国際交流及び学術交流事業

国際交流事業、学術交流事業、留学生交流事業など

④ 修学支援事業

経済的理由により修学が困難である学生の入学料や授業料の(一部)免除、学資の給付、留学費用の補助など

⑤ 研究等支援事業

学生又は不安定な雇用状態にある研究者を対象とした、研究活動、研究活動の成果発表、研究交流促進等の支援に関する事業など



オンラインでもお手続き可能です！
二次元コードから➡



令和7年度「まほろば徳・得講座」は盛会に終わりました。
講師の先生方、参加の皆様、ありがとうございました。
お礼を申し上げます。

○第一講7月3日：みんなで考える、これからの「学校」

～何が残って、何が変わる？ 教師ってどうなんの？～

講師：大和高田市教育委員会指導主事 寺川 聡先生

今日の課題の説明や、教育現場と教育行政との連携の大切さを教えていただきました。



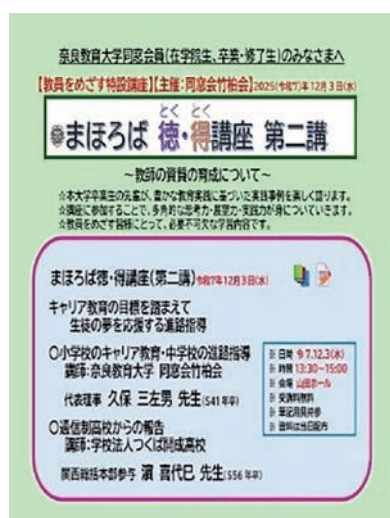
○第二講12月3日：キャリア教育の目標を踏まえて

～生徒の夢を応援する進路指導～

講師：同窓会竹柏会 代表理事 久保三左男先生

学校法人つくば開成高校 関西総括本部 参与 濱 喜代巳先生

参加の学生さんたちは、真摯な態度で講座に参加し、熱心に質問をしていました。とても有意義な「まほろば徳・得講座」になりました。



「一日親睦研修旅行」を実施しました。ご参加の同窓会員の皆様ありがとうございました。

行先：ユネスコ世界記憶遺産登録「舞鶴引揚記念館」方面他



舞鶴引揚記念館

舞鶴赤レンガ記念館

NEW!!

お知らせ

①令和8(2026)年度「まほろば徳・得講座」の開催は同窓会竹柏会のHPや奈良教育大学のInstagramでお知らせします。ご参加をお願いします。

②令和9(2027)年度の「公開文化講演会」には講師先生に「国立大学法人 奈良国立大学機構 榊裕之理事長先生」をお迎えして開催いたします。日時・演題は「広報誌まほろば」や同窓会竹柏会のHP並びに奈良教育大学のInstagramでお知らせします。ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。

参加申し込み

TEL : 0742-21-6101 FAX : 0742-21-6102
Eメール : nakyodoso130@gmail.com



奈良教育大学
公式Instagram

支会だより

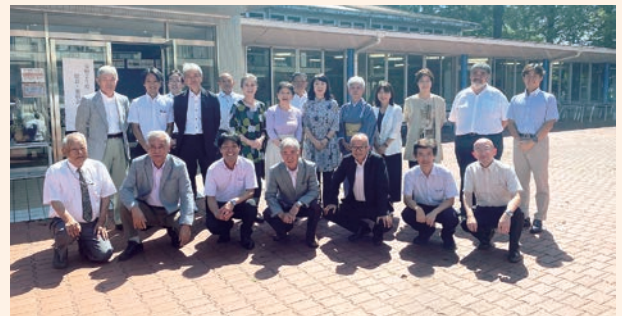
令和7年度「あおによし会総会・懇親会」報告 鵜澤 和幸 (H6)

本学を卒業されて、京都府在住(在勤)の有志で構成される「あおによし会」は、令和7年9月6日に発足から41回目の総会・懇親会を、例年ならば奈良市内のホテル等を利用していましたが、初めて奈良教育大学生協食堂で開催致しました。参加者数の減少もあり、今後の本会の発展のためには、諸先輩方だけでなく、現職若手の参加を促すことが大切であると考えたことがきっかけです。

その懐かしさ溢れる食堂にて、当日は21名の会員の皆様のご出席をいただき、鐘築栄滋会長の挨拶、久保三左男前会長からの来賓紹介、ご来賓の奈良教育大学の吉田誠同窓会理事からのご挨拶に引き続き、昨年度末に退職された先生へ記念品を贈呈し、退職されてからの現在の近況について知らせていただきました。

その後の研修会では、吉田誠同窓会理事より、奈良教育大学の近況や学生の頑張りについて、ご講演いただきました。現地でお話を聞いたことはとても感慨深いものがありました。その後、鐘築栄滋会長(現井手町立井手小学校長)・私(現精華町立精華台小学校長)の現職2名の本学卒業から紆余曲折を経て現在に至るまでの話をし、研修会を終えました。

続く懇親会では、生協食堂でオードブルとアルコールに舌鼓をうちながら、諸先輩の先生方のご苦労話や優しいアドバイスを和やかな時間の中でいただきましたことは、現職にとっては教職生活を続けていくための参考となり、感謝の気持ちでいっぱいとなりました。本来であれば、なかなか会話することもできない京都の教育界に多大の足跡を残し、ご苦労されてこられた諸先輩方の金言を聞かせてもらうことができるのは、ひとえにこの奈良学芸大学・奈良教育大学という同じ学び舎で青春時代を過ごした仲間だと思ってくださるからこそだと感じました。今後も更に若手現職にとっても有意義な時間を過ごすことができるように、更に「あおによし会」を発展させていかなければならないと決意を新たにしました。今後、京都府相楽地方だけでなく、山城地域全域で活躍している現職の先生方の参加を増やしていきたいと思います。



桜井支会の集い

半田 孝 (S63)

ブロックみたいな風のかたまりがどんどん身体を押してくる一月最後の日曜日。吹き飛ばされそうになりながら、二階への階段を一步ずつ上がっていく。会場はおなじみのカラオケ店。

「うー、寒い、寒い〜。」ブルブル震えながら扉を開けると、「いらっしゃ〜い!!」と大先輩が迎えてくださる。寒さが一気に吹き飛んでしまう。

この日の参加者は、20代から80代までの13人。受付で選んだ小さな二つ折りの紙を開くと座席の番号が書かれてある。初めての参加者には大先輩が席を案内して下さる。

まずは支会長の挨拶、そして恒例の記念撮影。会の終わりまでに写真をプリントしてお持ち帰りいただくのである。続いて近況報告。一年ぶりの再会でもあるが、新しい出会いでもある。改めて自己紹介をする。勤務先や日々の出来事などに頷いたり、笑ったり。3回目とあって、互いの一年

という時間が身近に感じられた。

食事を終えると大先輩がカラオケに曲を入れる。昭和から令和までお気に入りの曲を順に披露しあうが、手拍子がピタッときたり、ずれたり。愉快なひとときはあっという間に過ぎてお開きの時間となった。

「また、来年ここで集いましょう!」

皆の笑顔が今も思い出される温かな桜井支会であった。



『東大阪支会ものがたり』

高山 卓三 (S58)

「さてさて何をどうすればより多くの支会員が集まるものか!」本会では金治支会長はじめ役員一同が激論を重ねてきた。

そこへ本部企画「R7同窓生のつどい」の情報が届く。キャンパスツアーも魅力的だが、何より「学生食堂での懇親会」という選択肢が役員会を興奮させた。

「ええやん学内ツアー! 支会相手でも食堂は対応してくれる?」「とにかく下見目的で『同窓生のつどい』に参加や〜」

令和7年11月8日(土)、晴天に恵まれた学内を現職大学教員「奥村浩一先生」にご案内いただき、それぞれが「思い出と現状の脳内整合」にトライした。【奥村先生への感謝とともに、久保同窓会代表理事・宮下学長のお力添えに御礼申し

上げます]

学食での総会・懇親会はほとんどの参加者にとって「懐かしさ」だけでも話が弾み、「いや〜ここには食堂なかったなあ〜」という先輩方にも新鮮?な時間となった。

参加申し込み者28名中12名が現職東大阪市勤務者(約43%)。さらに新世代参加をねらう。



会員だより

バドミントン部OB会

山田 昇 (S50)

学生時代、汗を流し苦楽を共にしてきた仲間が、毎年お盆明けの土曜日に30人程度集まり、美味しい料理やお酒を味わいながら昔話や近況報告等を報告しながら、短時間ですが、しばし青春時代にタイムスリップした時を過ごしています。

しかしながら、この会も最初の頃は参加者も40～50代が多く、子どもの進学や自身の仕事のことなどの話題が多かったのですが、最近「膝や腰が痛い。」「どんなサプリメント飲んでる？」などの話題が増え、誰しもが年を重ねてきたのだ

など実感することが多くなってきました。その中でも体調を崩して参加できない方や、残念ながら既に他界された方も出てきており、いつまでこの会が存続できるか難しい状況です。ですが参加者の多くは今のところ元気に生活しており、まだ数年は大丈夫かなという感じです。次の年の幹事も決まり、店の予約も終え、来年の再会を約束して帰途につきました。



便り

中上 武二 (S41)

猛暑でしたネ。最近クマ出没毎日のようですネ。

9月21日 朝日新聞

山形県鶴岡市印添町河川近くで住民発見、110番通報 猟友会射殺。

9月26日 朝日新聞

広がるクマ目撃地 2023年度98件 2024年度145件、今年は9月20日で86件

五条市、天理市、宇陀市、奈良市で目撃相次ぐ

今日10月6日 ニュース

京都市北部小学校近くでクマ2頭出る。熊除けのスズ、カバンにつけた児童多し。

古里 野迫川村に熊と格闘した人がある。

熊は後ろ足で立ち両手を高く開いて飛びかかる。熊と後転して両足で熊の腹、力いっぱいいくつものころばす。右手が銃の台尻とともに熊の口に入り、撃った。



月の輪熊
(野迫川村 弓手原 地造昭男宅)

学生会員からのたより

一回生展『若葉の書』

書道教育専修一回生 桑原 一菜

一回生展『若葉の書』を、2月12日(木)から18日(水)までの6日間、奈良教育大学学生会館・山田ホールにて開催いたしました。

本展は、大学入学後初めての展覧会として、一回生13名がそれぞれの学びの成果を披露したものです。

漢字・仮名・創作作品に加え、授業で制作した手鑑や、二人一組で取り組んだ共同制作など、さまざまな作品を展示いたしました。古典臨書による基礎的な学びから、自分らしさを大切にしたい創作まで、日々の授業や自主制作の中で積み重ねてきた努力の結晶が、会場を

あたたかく彩りました。制作の過程では悩み、試行錯誤を重ねながら書と向き合い、技術だけでなく、表現することの難しさや楽しさを改めて感じる機会となりました。会期中は多くの皆様にお越しいただき、あたたかいお言葉を頂戴しましたこと、心より感謝申し上げます。

今回の経験を大切な一歩として、これからも互いに励まし合いながら、さらに成長してまいります。



家庭科教育専修

家庭科教育専修 浦井 風歩

家庭科教育専修の授業は、座学だけでなく実習を行う授業が多いことが特徴です。被服学実習では、一人ずつ一枚の反物から浴衣を製作する授業があり、布の扱い方や縫製の技術を実践的に学ぶことができます。

また、調理学実習では、基本的な調理方法で作る料理を習得した上で、その技術を組み合わせ

せながら和・洋・中のさまざまな料理に取り組んでいます。

さらに、家庭科の授業づくりや指導法について学ぶ授業では、学生が一人で学習指導案を作成し、模擬授業を実践したうえで担当教員から評価をいただく機会があります。このような実践的な授業を通して学んだことを大切に、将来家庭科の教員として生徒に分かりやすく楽しい授業を届けられるよう、日々努力していきたいと思っています。



ウインドアンサンブルの紹介

奈良教育大学ウインドアンサンブル 北嶋 やよい

奈良教育大学ウインドアンサンブルは約70名の部員で活動しています。奈教の学生だけでなく、奈良女子大学、奈良県立大学の学生も所属しており、大学の垣根を越えて一緒に吹奏楽を楽しんでいます。

昨年度は、七つの小学校・こども園でご依頼いただき、演奏を行いました。子どもたちに音楽の良さや楽しさを伝えること、子どもにとって貴重な、楽器とのかかわりの場をつくることを大切に活動に励んでいます。演奏に合わせて大熱唱したり、知っている曲を楽しそうに聞いたりしている子どもたちから、大きなエネルギーをいただきます



した。

現在は、定期演奏会に向けての準備、練習を行っています。今年の定期演奏会は45回という節目であるため、例年の演奏に加え、記念ステージとしてOB・OGの方々との合同での演奏を予定しております。ウインドの歴史を振り返り、足跡を辿りながら企画を行っています。

学生広報スタッフ

教職大学院 東 晃太郎 幼年教育専修 河合 紗良

はじめまして、奈良教育大学学生広報スタッフです。私たちは大学から任命されたボランティアスタッフとして広報活動を行なっております。発足わずか2年という出来立ての組織ではありますが、週に一度会議を行い、奈教の良さを知っていただこうと日々奮闘しております。写真は先日の会議の様子です。

今年度は春から秋にかけて公式インスタグラムを立ち上げ、メンバーの個性あふれる投稿を行ってまいりました。学内や通学路の紹介、学生寮の紹介など、皆さんも思わず「懐かしい!」と声が出てしまうようなものもございます。ぜひご覧ください!また、そのまふォロウもお願い致します!!この先は学生自治会、文化会、体育会など様々な学生団体と共に広報活動に取り組んで参りたいと思っております。そして、奈良教育大学同窓会「竹柏会」のみならず、まとの交流や主催されている講演会などにも積極的に参加したいと

第45回定期演奏会は12月26日、やまと郡山城ホールで行います。大人数による迫力あふれる演奏を、ぜひ会場でお楽しみください。

最後になりますが、平素よりウインドアンサンブルへのご支援を賜り、誠にありがとうございます。これからも部員一同、練習・活動に励んでまいります。

考えています。また、春には新入生に向けて、在学生が知っておいたほうがいい!と思う情報を発信する予定です。

これからも「学生ならではの視点」を大切に、様々な情報を、様々なメディアからお届けする予定です。見かけられた際には目を留めていただけると幸いです。生まれわたの子鹿のような私たちをどうか応援よろしくをお願い致します。



学生自治会

学生自治会執行委員会 執行委員長 平 莉歩

こんにちは。奈良教育大学学生自治会執行委員会です。

奈良教育大学学生自治会は、本学の学部生全員を構成員とする組織であり、その中から選出された学生による「執行委員会（以下、本委員会）」が中心となって運営を行っています。現在は、2回生2名、1回生4名の計6名で、より充実した大学生活を目指して活動しています。

本委員会は、学生の代表として主に以下の活動を統括・支援しています。文化系サークルが所属する「文化会」、体育系部活動・サークルが所属する「体育会」のまとめ役を担っています。年度初めに新入生と各団体を繋ぐ「サークルオリエンテーション」の実施や、大学祭実行委員会への支援を行っています。学生代表として式典への参加や、学生大会の開催、会計予算・決算の報告など、健全な自治運営を行っています。

私たちの活動、そして各部活動・サークルの活発な運営は、同窓会の皆様からの温かいご支援によって支えられています。

入学時に納入いただく自治会費のみでは、すべての団体へ十分な

支援を行うことが難しいのが現状です。しかし、皆様からいただく「支援金」のおかげで、各団体への活動支援金の分配や、大会への出場費の工面が可能となっております。学生からは「支援金のおかげで大会に出場できた」「活動の幅が広がった」という感謝の声が多く寄せられています。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。

本委員会の業務は、普段は表に立ちにくい「陰で支える」活動が多く、学生の間でもその詳細が十分に知られていないという課題があります。そのため、今年度は「学生自治会の活動をより広く認知してもらうこと」を目標に掲げ、広報活動にも力を入れていく所存です。



学生自治会執行委員会 一同

最後になりますが、平素より学生自治会へ多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。今後も学生がより有意義な大学生活を送れるよう、精一杯努めてまいります。

大学祭開催のご報告

第76代 大学祭実行委員会委員長 戸田 朝陽

第76回輝薨祭は、2025年11月22日（土）・23日（日）の2日間にわたり開催されました。本学の大学祭である輝薨祭は、コロナ禍以降最多となる模擬店の出店に加え、キッチンカーにもご協力をいただき、多彩な食品を楽しむことができる大学祭となりました。幸い天候にも恵まれ、会場には多くの来場者の笑顔があふれる、温かい2日間となりました。

学内装飾は「タイムスリップ」をモチーフに、過去と未来を表現しました。過去のゾーンでは侍や忍者、恐竜などを用いた装飾を施し、未来のゾーンではデジタル化が進んだ近未来をイメージした装飾で学内を彩りました。また、子どもフェスティバルでは「過去」や「未来」へタイムスリップする設定のゲームを実施し、お子様連れのご家族にも楽しんでいただくことができました。オープニング祭では恒例のビンゴ大会を、エンディング祭では「5レンジャー」をモチーフにしたミニゲームをはじめ、お化け屋敷や景品をかけて競い合う国際三輪車レースなど、さまざまな企画を実施しました。いずれの企画も多くの来場者にご参加いただき、会場は大いに盛り上がりしました。

さらに、第76回輝薨祭では、6年ぶりの開催となるフリーマーケットや、バスケットボールBリーグで活躍するバンビシャス奈良様とのコラボ企画など、新たな取り組みにも挑戦しました。フリーマーケットは、多くの皆様のご協力により学内に明るい賑わいをもたらし、バ

ンビシャス奈良様とのコラボ企画では、景品をかけたフリースローチャレンジを通して、子どもから大人まで幅広い世代の笑顔が生まれました。

2025年度の大学祭は、「輝け奈教万博! 未来に残す鹿パビリオン。」をテーマに実施しました。大きな反響を残して終わった万博のように、老若男女を問わず多くの方々楽しんでいただけた輝薨祭を実現できたと感じています。

輝薨祭の成功は、同窓会、後援会の皆様、大学関係者の方々、そして地域の皆様の多大なるご支援とご協力があったからこそ実現できたものです。この場を借りて、心より感謝申し上げます。

次回輝薨祭は、2026年11月21日（土）・22日（日）の開催を予定しております。本年度の反省を活かし、より一層充実した輝薨祭を目指してまいります。多くの皆様のご来場を、心よりお待ちしております。



奈良教育大学ゆかりの偉人・正木直彦

Life Stories of Great Educators from Nara University of Education

文・寧楽書院愛友会 山本 隆萬

みなさまは「正木直彦」という人物をご存知でしょうか。おそらく多くの人にとっては馴染みのない、あるいは、東京美術学校(現:東京藝術大学)に第5代校長として、31年間もの長きに亘って務められた「藝大の重鎮」としてご存じかもしれません。

しかし、堺県師範学校(現:大阪教育大学、奈良教育大学)で教員免許を取得し、奈良教育大学とのゆかりが深いことはほとんど知られていません。

正木氏は77年の生涯の中で、我が国の美術教育行政の礎をつくり、「日展」の源流となる「文部省展覧会」の創設に携わるなど、数多くの功績があります。その活動の原点には「奈良」での生活がありました。

この度、同窓会や有志の皆さまのご助力を頂き、正木直彦氏の漢詩作品を購入する事ができました。6月3日から本学図書館で公開展示するに先立ち、その生涯をたどり、業績を追憶するとともに、奈良教育大学とのゆかりをご紹介します。

Ep1. 奇縁～奈良の地とのゆかり～

正木直彦は文久二年(1862)、和泉国堺に生まれました。17歳の頃から私塾「晚晴書院」主人の土屋弘(奈良県師範学校初代校長)の書生となり、堺県師範学校(現:大阪教育大学、奈良教育大学)・堺県中学校を卒業後、弱冠二十歳にして、堺市立熊野小学校の校長に就任しました。

明治17年(1884)、東京大学予備門(のちの旧制第一高等学校)に進み、夏目漱石(1867-1916)や正岡子規(1867-1902)、南方熊楠(1867-1941)ら同級生と学びました。明治25年(1892)、東京帝国大学法科大学法律科を卒業後、奈良県教育行政の指導のために赴任しました。

奈良の地は、正木氏の母の故郷でした。明治9年(1876)に東大寺大仏殿で開催された第二回奈良博覧会(3月15日～6月25日)にも訪れ、奈良の宝物に触れたようです。

現在の大和郡山田町に移り住んだ正木は、最初に奈良県尋常中学校(現:奈良県立郡山高校)の校長となり、明治28年(1895)に奈良県尋常師範学校(現:奈良教育大学)及び奈良県立奈良高等女学校(現:奈良女子大学附属中等教育学校)の校長にも就任しました。

自宅には十三本の松の木が植わっており、奈良での四年間の生活をここで過ごしました。その後欧州を視察のため奈良を離れますが、東京に移り住んで以降も景勝を忘れる事ができず、奈良で愛読していた廖燕著「二十七松堂文集」に倣って自らの号を「十三松堂」としました。

Ep2. 大改革「奈良師範」への功績

奈良県尋常師範学校(以下「奈良師範」)の校長としての在職期間はわずかに半年間でした。しかし、その辣腕ぶりは遺憾なく発揮されており、後の教員養成の基礎となりました。

明治28年(1895)9月に任命され、奈良県最初的女子教育機関である、奈良女学校の校長として創設に努める傍ら、問題の多かった奈良師範の校舎の改築に着手しました。この旧校舎は明治20年(1887)に大阪府に吸収されていた奈良県が再発足するに伴い、奈良師範が再設置された際に登大路町(現:奈良公園バスターミナル)に建てられたものでした。

新校舎の建設には古澤知事が議会決定を押し切って実現させ、設計には、後に建築界の重鎮となる長野宇平治氏が担当し、明治29年(1896)1月に起工、同年12月には竣工しました。建坪351坪、高さ約9.1mの新校舎は奈良県で最初のドイツ式建築を参考にした洋風建築でした。

教育改革では、教養諸学の修養に疎かった学生像を問題とし、教科内容の充実・実践に加え、思想伝達の方法を実施しました。また学習内容の応用を重視し、普段の生活や他教科の学習時にも教科横断型の学習を活用させ、後の「大正自由教育」の源流を形成しました。

明治29年2月1日、校長を辞し、正木氏はこれを最後に教育現場から離れ、文部官僚として多忙を極めます。



図1 奈良団扇を使ってつづられる正木直彦先生

Ep3. 荒廃する奈良、文化財を守る

廃仏毀釈のダメージは、寺領の没収や檀信徒離れという経営基盤を揺るがすものでした。特に奈良の寺院には檀家を持たない官寺やそれに準ずる位置の寺院が多く、荒廃を余儀なくされました。

正木氏が奈良に赴任した当初、古社寺調査委員会委員長・帝国奈良博物館学芸委員に任じられると、荒廃の進む東大寺・興福寺・春日大社などの宝物調査に取り掛かりました。すでに仏像には保存の動きもありましたが、価値を軽んじられていた経典や絵画類などに重要性を見抜いて保存に関わり、その多くは現在国宝・重要文化財に指定されています。

また美術史に対しても先見の明を持ち、例えば仏像の形態を比較して年代を求めるだけでなく、その材質についても研究するべきであるという「文化財材料学」の先駆けとなる提言をしています。

正木氏は物事を冷静に判断する一方、信仰に篤くもありました。法隆寺夢殿については、明治17年(1884)、フェノロサ・九鬼隆一・岡倉天心が秘仏・救世観音をご開帳させた事が余りに有名です。しかしその後、正木氏によってその厨子を寄進された事は余り知られていません。

自らも文化の担い手として参加し、後身の指導育成に努める姿には、持続的な社会の一員としての在り方を実践する教師としての姿を感じさせるものがあります。

Ep4. 遺墨・「訓世孝弟詩十一首」

この度購入した正木氏の遺墨は、邵雍(康節)の「訓世孝弟詩十一首」から撰文されたもので、高209cm、幅47cmにも及ぶ大作です。掛け軸には、



図2 奈良師範旧校舎



図3 正木校長時代に建てられた新校舎

「毎日清晨一炷香謝天謝地謝三光
惟求處々田禾熟但願人々壽命長
國有良臣安社稷家無逆子賴爺孃
四方寧靜干戈息我縱貧時也無妨
昭和己卯春初青霞洞主人属七十八叟十三松堂書」

とあり、大意としては、「毎日早朝に線香を一本焚いて、天と地、そして日・月・北極星に感謝の祈りを捧げる。心から願うのは、あちこちの田畑で五穀が豊作になり、すべての人々が長く健康に生きること。国には賢い臣下がいて国家が安定し、家庭には親に不孝な子がなく、父母を悩ませないこと。四方が平和で、戦争や争いごとがなくなるならば、たとえ私自身の身は貧しくとも、何の問題もない。」と記されています。

この書は同郷出身で、昭和14年(1939)春、朝鮮人留学生の支援に尽力した柳原吉兵衛氏に宛て、したためたものです。正木氏は翌春の昭和15年(1940)3月2日、肺炎のためこの世を去りました。享年77歳。(了)

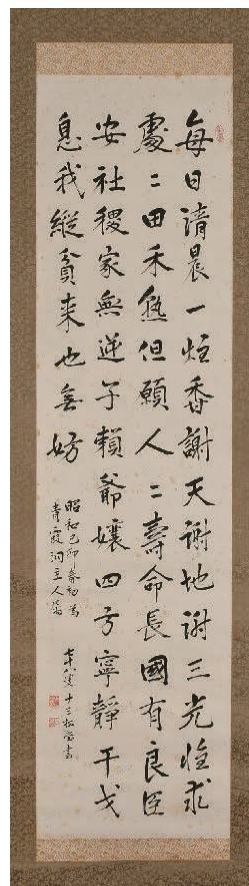


図4 正木直彦書「訓世孝弟詩十一首」
昭和14年(1939)、寧楽書院
愛友会・山本隆萬 所蔵

同窓会年会費振り込みご協力のお願い

**ご自宅で簡単に納入できる
スマホ決済を導入しています**
PayPay・auPAY・PayB

コンビニ振込用紙のバーコードをスマホ決済アプリで読み取り、金額を確認してお支払いください。
支払先は(株)サルトに委託していますので「サルト」と表示されます。



年会費の用途

- 「会報まほろば」(年1回)の発行
- 「学生会員への支援」として
クラブ・サークル活動や大学祭への補助
- 支会活動・講座開設などの同窓会活動の経費

同窓会 3種構成

- ▶ **正会員(推進委員)**
正会員総会における議決権を有し、同窓会活動を推進していただいております。
- ▶ **一般会員**
- ▶ **学生会員**

年会費

- 正会員 3,000円以上**
新たにご希望の方は、同窓会事務局までご連絡ください。
- 一般会員 2,000円以上**
1,000円単位で増額していただけます。
- 85歳以上会員の一括納入をご利用の場合**
- ◎85歳(10,000円) ◎86歳(8,000円)
 - ◎87歳(6,000円) ◎88歳(4,000円)
 - ◎89歳(2,000円)となります。

事務局だより

- ◎「奈良教育大学同窓会ホームページ」へは、パソコンで検索頂くか、下記のQRコードを読み取ること
で開くことができます。是非ご覧ください。
- ◎今年度も未来を育む基金(奈良教育大学基金)のパンフレットを同封しました。主旨をご理解の上、ご
協力をお願いいたします。
- ◎まほろば39号は、全会員に発送しています。**住所変更等がありましたら事務局までご
連絡ください。(メール・ファックスもご利用ください)**
- ◎事務局は、**毎週水曜日(10:00~13:00)在室しています。(お盆・年末年始を除く)**
なお、**7月13日(月)から8月7日(金)の期間は月・水・金曜日(10:00~15:00)在室します。**
- ◎同窓会は皆様の会費で活動しています。**まほろば39号でも紹介している各活動の支援
金に使っています。**会費の納入にご協力ください。
- ◎個人情報の保護には、万全を期しています。



奈良教育大学
同窓会
ホームページ

編集 後記

会報「まほろば39号」に多くの会員の方から原稿を投稿していただきありがとうございます。その中には、学生会員の方が自身の研究を紹介されているものがあり、内容も興味深く、強い探求心を感じることができました。次年度の会報にも卒業生だけでなく、学生会員からも多くの原稿が寄せられることを期待しています。

大学で新年度の授業が始まった4月中旬に、同窓会が寄贈した八重桜のショウゲツが講堂前で満開になりました。優美な淡い色の大輪で、若木なのに花付きがよいため毎年の開花時が楽しみにになります。



会員の皆さまの原稿を 募集しております

支会の報告、同期・部活動・研究室等で行った同窓会の報告、在学時代の思い出、近況や最近思うこと、個人の趣味や研究成果、大学のゼミや部活動の紹介など、お気軽に原稿をお寄せください。
令和9年4月9日(金)までに投稿していただくと「まほろば40号」に掲載いたします。

ただし、原稿数や内容によっては、次号になる場合がありますのでご了承ください。

500字程度で郵送かメールで投稿してください(写真があれば添付してください)。

送付先：〒630-8301 奈良市高畑町

奈良教育大学内

一般社団法人奈良教育大学同窓会

竹柏会事務局「まほろば原稿」

E-mail: nakyodoso130@gmail.com

件名「まほろば原稿」



一般社団法人 奈良教育大学同窓会竹柏会会報「まほろば」 第39号 発行：令和8年6月30日

発行所 一般社団法人奈良教育大学同窓会竹柏会事務局 〒630-8301 奈良市高畑町 奈良教育大学内
TEL:0742-21-6101 FAX:0742-21-6102 郵便振替番号00930-1-238232
Eメール: nakyodoso130@gmail.com

編集・発行 一般社団法人奈良教育大学同窓会竹柏会

印刷所 富光株式会社 〒632-0004 天理市樺本町2272-2

—題字 故 川淵勝男元会長—